



豐後 備中

江藤彌七原撰
萩田篠夫補刪

改正農業往來

浪華書肆

實文堂發兌

向



田の辨



田地制法之事

一間六尺を以て又六尺三寸六
寸五分を以てをり

一畝ハ三十歩を云ふ歩ハ坪と

以て同ハ三十坪を以て

一畝ハ坪ハ三百六十坪を以て

今ハ三百坪ハ迄ハ存スルノ地ハあり
 一町ハ六十間ハ四方ハを以テ今ハ市町
 乃一町ハ十町ハあり
 一歩ハ一坪ハのも也ハ六尺四方ハも
 六尺五寸ハの方ハもハ以テ以テ也

農業往來



夫レ農業ハ國家ハの基本トス

食ハ貨ハ貝ハ二ハツハ小ハ弁ハ係トス

すハ所ハの一大ハ事トス

農耕往來

食ハ米穀のふり

まゝの債ハ布帛乃

衣ヲ著たりのまゝ生

民の急務ヲ先

耕耨クサギリ時谷をふ失

地勢タガヘシ高ウツ低テイ湿ドク

切キ行コウ一用イツウ小水コスイ便利ベニ

を察サツ一イツ大河ダイガハ勿論ムロ

溪水セキ枝流エダ湧泉ユウセン

干渴カンカクと量り石壁イシカキ

土手ドテ築ツクリ蛇ヘビ籠カゴ

石梁イシノミ土物ドモノ架カ

堀溜池ホリドブ堤井溝ツツミ

井堰イノセ字ジ无懈ムキヤク急イハレ加カ

修補シウボ洪水コウスイ旱魃コウバツ小コ

難ナンを凌シぐ事コト第ダイ

一也叔又色く古老

またづね彼季所境

界阡陌畎畝畦

を糺一岡原森林

柴薪聖牧場を

去く死池瘦竹林

苔蕪く地を官小訴

一開程の元可成更け

桑茶葉草等ムロ ムロ ムロ ムロ

園圃をちん契エン ムロ ムロ

家宅居住イハタチ温源ウマン

以理イリ収獲シュウカクおオ

穀場コクバ乃便ノベン運ウン産サンをヲ

子コ際サヘ要ヨウしシ粉コ

有閑地ウケンチハ麻苧マソ等ト葉エフ

青紅アヲベニ子コ楮漆クシおオ

樹シロ 富物もちもの 大麥おほい 小麥ちひさ

麥むぎ 烏麥くろむぎ 大豆だいづ 小豆ちづ

大角豆おほい 豌豆まめ 蕎麥そば

粟あわ 黍きび 稗ひゑ 胡麻ごま 苧麻じま 苧麻じま

子菜こさい 種木たねき 棉わた 煙州たばこ

蕪菜かぶら 菜根さいこん 午房ごぼう 胡荽こすい

葡萄ぶどう 薯蕷やまのいも 唐芋からいも 和芋わいも

馬鈴薯かぶら 蕪菜かぶら 烏芋くろいも 芋いも 芍藥しゃくやく 芍藥しゃくやく

南瓜なんぼ冬瓜とうぼ西瓜すいか真瓜まか

胡瓜こけり茄子なす蕃薯とうがら芋いも

葱山薑たで韭こさび薤にら葱らっきょう

藥種やくしゆ地黃ぢわう山田歸さんでんき

川芎せんきゆう芍藥しやくやく桔梗ききやう百合はくりつ

紫蘇しそ生薑せいきやう樹木じゆぼく芥菜かさい

榲梨かき蜜柑みつだん金柑きんかん柚ゆ

橘たちばな橙だいだい香梅かうばい子浪こなみ香かほ

榛こしき枳こく殼むめ梅は桃は杏あけび本ほん杏あけび

楊やま梅うり杜び杞は柘ざく榴ろ山さん柘しやく

此この他た之ず道しん枚めい舉きよ其その

大たい概がいをを記さすすのの之し葉え

實じつをを考かん熟じく期きをを考かん

可べのの物ぶつをを根ねをを考かん

考かんをを考かん葉えをを考かん

循す良ら以も之を考かん

國くにの肥こ瘠せのたゞしむ

りとも時とき候こうの吹ふ

序しよを過たすと可べ播ま種しゆ

ちを凡たふま生ますト反あ

長ちやうト秋あき收とる冬ふゆ花はな

す天てん地ち間かん自じ然ぜん

道みち程りやう一いち々じやく四し時じ

去こす勉べん勵れい力りき

そのよりの
手給暇のりしと
其集のり

そのよりの
冬前カゲ籾イタミ扱カサをもコノ補トウふ

干ア鰯ウ油アブ粕カ糞コ弓コ山ト也

しおをあり集めく加ま倍サ与を

ニ
ツチカヒ
ヤシナヒ
ニ

種コ蒔ウ苗ア代ハ梅ツ雨ユの中ナカ

村女むらよめをを雇こひひ秧アをを挿サ

タウウエル

み六月アツサ生ユ草コ者モノをを少コくク

ありと田タ作サをを取トりリ秋キウ

分抽種ぶんちゆうしゆよみそよみそいふいふ畝うし熟じやく

乃害なりがいをを防衛ぼうえいしし刈かり

田燈でんとう稔ねん早中わせいちゆう晚わん古こ

来き対たい稻いぬ時とき乃なり来き病びやう

収納しゆうなつ者もの名な古このの法はふのの案あん取と

米こめここりりくくししれれとと三さん

等らうりり分ぶんちち上じやう官くわん

一負いつぶ運えん輸しゆ中ちゆう

一家作農具、衣服イヘノガタヲホ

代イヘノガタヲとヒヤクニヤウ下ダクハ夫ザ合ヒ

材料レウよベ可レ充ル外レ季キ儲テ

又マタ農具ノウリハ鋤ヒキアテ湫ム海ミ馮モ

省シヨウ解カク派ハ解カク中ナカ爪ツメ柄カ用ヨウ

畜シヨク筭サン干カン把バ連レン韌ニ龍リウ籠リウ

磨マ碓ス碓ス杵シ臼ウ以イ麓リョク筵セン

箕ヒ筵セン大ダイ概ガイ此コノ等トウ用ヨウ

具ぐの準備びんびん也ビナ 地ちの産さん物ぶつ也ビナ

日本にっぽんの東とう方ほう秀しゅう氣きの

所ところ鐘かねみみくく南なん州しゅうの氣き

候こう少せうききもも寒かん熱ねつの

極ごく支し度ど知ちふふ満まん一いつ

般ばん沃わく腴ゆ乃の地ちををれれるる

殖しょく産さん殊じゆ多たくく金きん

浪なみ洞どう淡たん硫りゅう磺わう砒ひ石せき

たむく茶葉製造しや ちや せいぞう

コシラヘダス

物ものを馬うま絹きぬ木綿もめん漆し

器もの肉やきもの葱しゆ水みづ名な都みやこ都みやこ

ヒヤウバン

玉たまよようううう最さい曲まが農のう耕かう不ふ

ヒヤクシヤウノテ

出しゅ多た利りサさーー水みづ色いろ紙かみ

リエキ

全ぜん國こくをを五ご畿き八はち道だうり

クニザウ

イツ、サカヒ

ヤツノミチスヂ

分ぶんちち為な國こく八はち十じゆ五ご畿き

田でん有う分ぶん山やま城しろ大やま和と

河内和泉攝津東海
 道十
 勢志摩尾張多河
 遠江駿河甲斐伊豆

相模武藏安房上総
 下総常陸東山道十
 三ヶ國近江美濃飛
 彈信濃上野下野岩

城懸代陸あ陸中陸
 奥羽前河及北海道
 十二石玉渡嶋石
 狩天塔小見猿振日

高十勝洲根室千
 島構古此土あ川岸
 柘あご今々古きれ
 不日新朱功をまら

トヲカラス

デキアガル

農業往來

十六

舟山陸道七々國若
 狭越前か賀野城
 中越後越後山陰道
 ハ々至丹波也及但馬

因幡伯耆出雲石見隱
 岐山陽道ハ々出播磨
 美作備前備中備後
 安藝周防長門備後

道六箇國紀伊淡路
 阿波讃岐伊豫土佐
 西條道十一箇小筑
 前筑後豊前造

后肥前紀伊日向大
 隅薩摩長門對馬
 以上十州郡村落
 大區小區々々區長戸

ヒトコホリ

ヒトムラ

ナヌシ

シヤウ

農業往來

一八

長村ちやうそん使邑し正せい所しよ衆しゆ

庶しよをを転てん任にん府ふ

縣けんありあり府ふをを三さん所しよふ

北きたくく東とう西せい京きやう大だい

坂さか出しゅつ是こゝをを府ふ縣けん七しち十じゅう二に

全ぜん國こくにに都と府ふ以もつ官くわん欠けつ

知ち事じ令れい考かう事じ典てん

事じ大だい少せう屬じやく史し生せい其その

他た使し給く也や政せい廳ていのの分ぶん

課くわ四しとと有あるる庶しよ務む聽てい

詔せう租そ稅ぜい出しゅ納なつ本ほんのの

之その後のちをを不ふききむむ將しやう又また

民みん工こうハハ擬ぎ治ち番ばん匠じやう匠じやう

鋸こ傭び普ふ茅まう工こう院いん工こう園えん

桶け家か是た利み檜ひ皮くわい皮くわい沙しゃ

為な匠じやう漆しつとと肉にく花はな造ぞう素そ

子作函匠漆家画工

装潢匠剃刷氏李匠

墨工吴服織匠繡匠

裁縫工裁縫師海工晒

布家冠冑師烏帽

子扇匠紙工撓木河

織工当匠梳夫炭了

礦工江湖滄海魚

人海士酒走山林乃

田獵師桑竹掘津

町名醸酒家造師家

燈油家蠟燭沙棧

秤の細く商人商賈も金

貨浪幣免金鋪

港口を行頭牙僧仲

使亦也此化村亦金物

小細相囊物店鋪手

代番以歧路老街

せりぬり賣り在郷

乃販子古祠買販所

買此邦社祠神官神

巫寺院僧徒尼僧又

儒者双石伯樂昆

琴法河詩奇燕茶

揮^{つげ}之^{たま}宗^{しゅう}匠^{しゆう}相^{あひま}撲^ま和^わ

人^{しゅう}馬^{うま}上^{うへ}半^{はん}車^{くるま}人^{ひと}力^{りき}軟^{ひき}

驛^{えき}路^ろの^の約^{やく}傳^{でん}轉^{てん}夫^お傭^{よう}

作^し和^わ姑^こ決^{けつ}夫^お津^つ人^{ひと}

踊^{おど}子^こ狂^{きやう}言^{ごん}竿^{かん}枝^え翁^{おきな}子^こ

枝^え女^{にょ}傾^{かへ}珠^{しゆ}遊^{ゆう}女^{にょ}上^{うへ}八^{はち}産^{うぶ}

衣^い玉^{たま}食^く家^かより^{より}下^{した}八^{はち}田^{でん}

夫^お聖^{せい}人^{にん}子^こ食^く

友よ交ふに越境をふ

淨雅翁の浮世草子不

流酒宴遊無不好

博奕弓に禁制不眩

農務閑暇の好

文學書數乃積古を

言行の信誼

をふ速謙退を専よ

一、二、親眷属輯睦
オヤクダヒハ、オナノカ、カナイノチ、ウ
ムツマシク

協和 夙夜寐終日
アサトク ヨルオソク

終宵 酷暑 愆之
ヒドイ、アツキ、キビシイ、サムサ

少 厥 風 自 寂 寞 不
カゼ、アノ、シモ、ユキ

耕 技 藝 其 之 勉
ヒラキ、ミノモ、ウツク、ウツク

強 耐 患 世 亦 之 づ
ヒキ、タヘ、シラダ、カムリ

子 孫 榮 華 天 綱 乃
シヤウ、テンノ、オメダミ

欲 娛 之 窮 之 自 主
ヨロユビ、タシシ、オノ、オノ

自由ドの権ケン權ケン不執フシツ名ナ

ノリミノトホリ

ケンペイ

海軍カイ山ヤマとト新シン公コウ古コ古コ

新シン公コウ古コ古コ

曲キョク衆シュウ策サク注チュウ系ケイ系ケイ

和漢西洋書物所

南大組第七區

心齋橋筋壹丁目

大阪 大野木市兵衛

